



<展覧会 開催のお知らせ>

UNPEL GALLERY（アンペルギャラリー）では、運営母体である「あいおいニッセイ同和損保」のメセナ活動の一環として、全国の大学、美術大学で日本画を学んだ学生の展覧会を 2021 年より開催しています。

この活動は、さらなる「文化芸術振興」を目指し、若手の日本画家を対象とした発表の場の提供、また地方大学の卒業作品展示等や各地域と連動した企画の実施により「地方創生」を推進するギャラリー開設の主旨によるものです。

今回は、4 月 9 日(土)から「東北芸術工科大学 日本画コース卒業生二人展 大野菜々子×渡部加菜実」の展覧会を開催いたします。

■タイトル / 『世界一の花束を-Bless these little children-』

～第 9 回大学日本画展 <東北芸術工科大学日本画コース卒業生二人展 大野菜々子×渡部加菜実>～

■会 期 / 2022 年 4 月 9 日(土)～4 月 24 日(日) 11:00～19:00 (月曜定休)【入場無料】

* 新型コロナウイルス拡大の状況により、開廊日や営業時間を変更する可能性があります

ご来廊の前には必ずギャラリーの HP/ <https://unpel.gallery> 及び Twitter/ https://twitter.com/unpel_gallery/ をご確認ください

■会 場 / UNPEL GALLERY

東京都中央区日本橋 3-1-6 あいおいニッセイ同和損保八重洲ビル 1F

■参加作家名 (ふりがな)

・大野菜々子 (おおの ななこ) ・渡部 加菜実 (わたなべ かなみ)

■主 催 / 東北芸術工科大学

■企 画 / UNPEL GALLERY

■協 賛 / あいおいニッセイ同和損害保険株式会社

■展覧会内容

東北芸術工科大学日本画コースを卒業した、大野菜々子と渡部加菜実による二人展『世界一の花束を-Bless these little children-』を開催いたします。

二名の作家は、山形という自然あふれる地で日本画を学び、暮らす中で、自然や生命について考え、制作を続けて参りました。

大野菜々子は山形の古民家をアトリエとして制作を行っていました。大野はアトリエで制作するうち、それまでそこに住んでいた人々の痕跡に触れ、今生きている人々は、もういなくなってしまった人々の生活の続きを生きているのだ、ということ強く意識するようになりました。そしてその人々の遺してくれたものを描きたいという思いで、現在インスタレーションや絵画を制作しています。

渡部加菜実は、日々の積み重ねや思い出が「だれか」をつくり、そしてまた周りの「誰か」と呼応していく経過を透明なドットで表現していきます。また、人はそれぞれ違う思い出を積み重ねる、誰も彼もがかけがえのない存在であるという思いで作品を制作しています。描かれたモチーフは常に移り変わる生命を表現しています。一見デジタル画像にも似たモチーフは、一瞬の輝きだけではなく、変わり続ける美しさの肯定なのです。

展覧会タイトルは「世界一の花束を-Bless these little children-」という言葉は、二名の作家の「全ての人々に花束を渡し、祝福したい」という思いでつけられました。花束は結婚式や誕生日、またはお別れの時に今後の前途やそれまでの感謝を込めて渡します。

コロナ禍で不安も多い中ですが、二名の作家の作品という花束を、ぜひお受けとりいただけますと幸いです。

各作家 150 号程度の作品 2 点、他 100 号～0 号 約 20 点展示予定

<ご連絡・お問い合わせ先>

■ギャラリーオフィス 11:00～19:00 (担当/中島 内城)

E-mail / tsubaki@un-pel.com TEL / 03-3548-7780 FAX / 03-3548-7781

* お問い合わせは E-mail にてお願いします

●作家プロフィール

大野 菜々子 ONO Nanako

- 2015 「東北芸術工科大学 卒業修了制作展」山形展 東北芸術工科大学（山形県）
「東北芸術工科大学 卒業修了制作展」東京展 東京都美術館（東京都）
- 2016 「Dojima River Awards2016」展示会 Dojima River Forum（大阪府）
「dadacha」展 銀座スルガ台画廊（東京都）
「三菱商事アート・ゲート・プログラム奨学生」展 原宿 GYRE（東京都）
- 2017 「東北芸術工科大学 卒業修了制作展」山形展 東北芸術工科大学（山形県）
- 2018 東北芸術工科大学 美術科副手展 2018
- 2019 個展「I was born here」 Room_412（東京都）
Oe EXPO プレ展示イベント 大江町まちなか交流館 ATERA(山形県)
東北芸術工科大学 美術科副手展 2019
- 2020 個展 「土と木の歌」
東根市文化公益施設 まなびあテラス市民ギャラリー（山形県）
- 2022 第9回 郷さくら美術館 桜花賞 展

受賞歴

- 2015 三菱商事アート・ゲート・プログラム奨学生
東北芸術工科大学 卒業修了制作展日本画コース最優秀賞
- 2016 Dojima River Awards2016 入選
- 2022 第9回 郷さくら美術館 桜花賞 展 奨励賞

リサーチや取材をもとに、土地と人間の関わりについてインスタレーションや絵画を制作しています。
日本美術、土俗文化、インターネット表象などを組み合わせた表現を模索しています。



「思い出は写真の中にある」 綿布、岩絵具、アクリル絵具 1300mm×1820mm 2021年

渡部 加菜実 WATANABE Kanami

- 2016 山形市内保育園壁画制作に参加
- 2017 公募展 金谷美術館大賞 入選
- 2018 東北芸術工科大学美術科日本画コース卒業
グループ展「promising2018」 GALLERY ART POINT
グループ展「妄想装画」展 銀座モダンアート
公募展 世界絵画大賞展 入選
公募展 金谷美術館大賞 特選
- 2019 グループ展「羅針盤 selectionvol.1」 アートスペース羅針盤
3人展「アマダレ展」画廊翠巒
グループ展「東北芸術工科大学大学院日本画 6人展」スルガ台画廊
グループ展「promising 2019」 GALLERY ART POINT
グループ展「drawing」展 東北芸術工科大学
岩手県陸前高田にてフィールドワークに参加(12月に成果展)
山形県新庄市内保育園壁画制作に参加
- 2020 東北芸術工科大学大学院修士修了
グループ展「真夏の美の夢」東京九段耀画廊
グループ展「羅針盤コレクション 5人展」アートスペース羅針盤
グループ展「夢幻 2021」 GALLERY ART POINT
グループ展「奏展—日本画選抜展—」スルガ台画廊
- 2021 グループ展「山本冬彦推薦作家展 8」銀座中央ギャラリー
グループ展「奏展—日本画選抜展—」スルガ台画廊
喜多方アートぶらり企画イベント「YAMIICHI」に参加
東北芸術工科大学 美術科副手展 2021

日々の積み重ねや思い出が「だれか」をつくり、そして周囲の「誰か」と呼応していく経過を表現できたらと思います。
また、それぞれ積み重ねる思い出は違うため、誰も彼もがかけがえのない存在だと作品をとおして伝えられたら嬉しいです。



背景写真+作品部分

「Breathing melts together」

インスタレーション <オーガンジー, アルミ箔, メディウム>

300mm×200mm 2022 年